



JIA-KIT 建築アーカイブス・公開展示会

宮脇 檀 手が考える

建築家・宮脇檀のドローイング展 巡回展 in 京都

2019年3月18日(月)～5月11日(土) ※日曜・祝日休館

【開館時間】10時～17時(入館は16時30分まで) 【入館料】無料

【会場】京都工芸繊維大学 美術工芸資料館 2階展示室

【アクセス】地下鉄：京都市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」1番出口から右(東)へ約400m、4つ目の信号を右(南)へ約180m

バス：京都バス「高野泉町」下車、馬橋を渡り左へ約200m

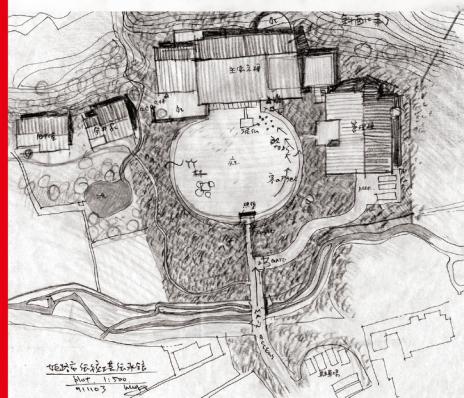
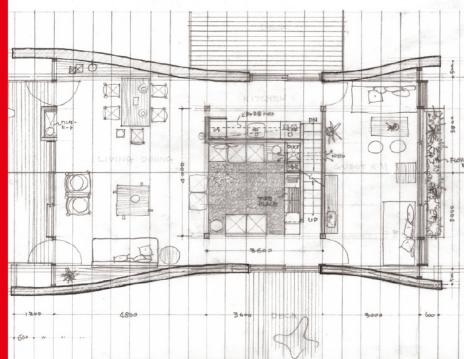
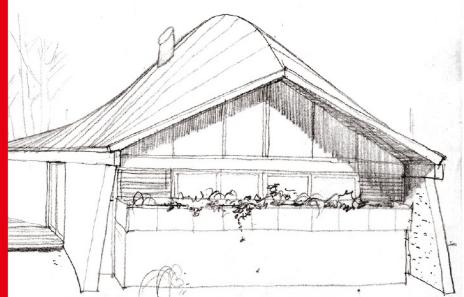
主催／特定非営利活動法人 建築文化継承機構 (JIA-KIT 建築アーカイブス)

共催／金沢工業大学

巡回特別共催／京都工芸繊維大学・京都工芸繊維大学美術工芸資料館

協力／宮脇檀建築研究室・宮脇 彩

後援／公益社団法人 日本建築家協会・一般社団法人 日本建築学会

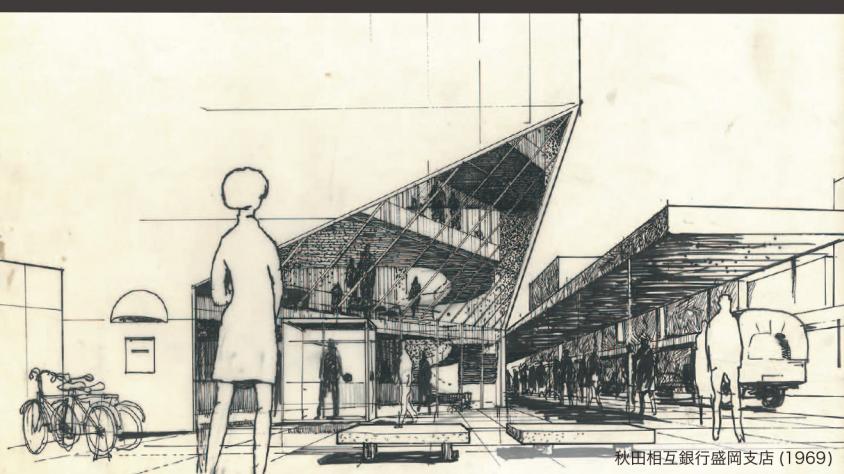


君は、建築家・宮脇檀 を知っているか？

建築家でエッセイスト、その語り口は軽妙洒脱かつユーモラス、ダンディであり旅の達人であり美食家であり椅子のコレクターであり、生活を楽しむ天才であり多芸多才。そしてめっぽう絵がうまい。手が動く・手が考える！

コンピューターグラフィックスが全盛の時代にあって、宮脇の描く建築のパースやスケッチは情感に溢れ、手業の素晴らしさを教えてくれる。それは建築家の原点でもある。そんな宮脇のフリーハンドグラフィックスを原図で、宮脇没後19年の今ここに展覧する。

(2017年7月)

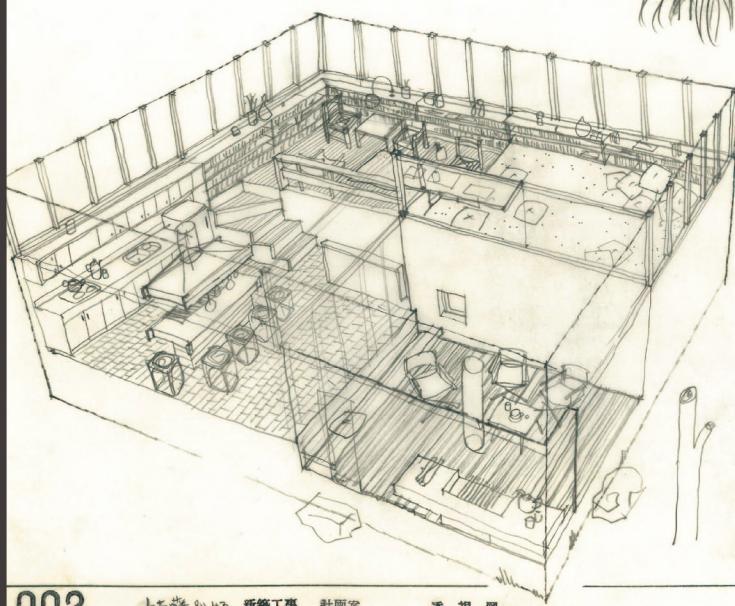


宮脇 檀 (みやわき・まゆみ 1936~1998)

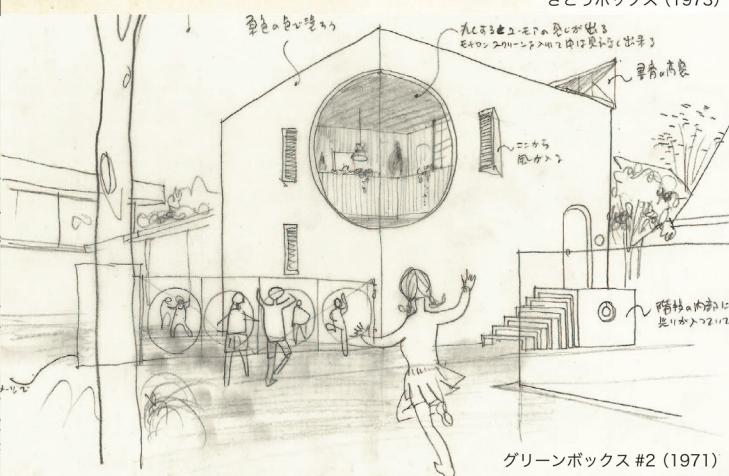
1936年名古屋生まれ。東京藝術大学美術学部建築科で吉田五十八、吉村順三に学ぶ。'61年東京大学大学院修士課程修了。'64年一級建築士事務所宮脇檀建築研究室開設。「80年「松川ボックス」で日本建築学会賞受賞。'91年より日本大学生産工学部建築工学科研究所教授に就任。'98年10月21日62歳で死去。作品集として『日本現代建築家シリーズ1 宮脇檀』(新建築社'80年)、『宮脇檀の住宅』(丸善'96年)また、著書として『父たちよ家へ帰れ』(新潮社'96年)、『男と女の家』(新潮選書'98年)など多数。

ご協賛

株式会社アキュラホーム／株式会社梓設計／株式会社アドヴァン／株式会社アバンゾンシエイツ／株式会社アルフレックスジャパン／株式会社石本建築事務所／内山緑地建設株式会社／株式会社栄港建設／有限会社AGC事務所／株式会社エクスナレッジ／王子不動産株式会社／大宇根建築設計事務所／大澤毅／株式会社大本組／株式会社岡部／香山壽夫建築研究所／株式会社環境デザイン研究所／北野建設株式会社／株式会社空間構造／隈研吾建築都市設計事務所／株式会社建築家会館／株式会社建築画報社／株式会社建築資料研究社／日建学院／株式会社コスマスインシング／コトブキシーティング株式会社／株式会社紺原製陶所／佐藤工業株式会社／株式会社佐藤総合計画／株式会社ザ・ハウス／株式会社山菱工務店／JFEエンジニアリング株式会社／一般財団法人住宅生産振興財團／株式会社彰国社／白石建設株式会社／株式会社スピナ緑化環境部／住友林業株式会社／住友林業緑化株式会社／積水化学工業株式会社住宅カンパニー／セキスイハイム九州株式会社熊本支社／積水ハウス株式会社／株式会社総合資格・総合資格学院／総合工業株式会社／株式会社大建設計／大光電機株式会社／株式会社谷川建設／タニコー株式会社本社学業部／有限会社田主丸緑地建設／株式会社タマヤ／株式会社天童木工／東京セキスイハイム株式会社／株式会社豊田商店／トヨタホーム株式会社／内藤廣建築設計事務所／中山育之／NPO法人にこにこサエティ／西牧厚子／ニッコーエクステリア株式会社／新日本工業株式会社／日本大学生産工学部建築工学科／日本大学生産工学部建築工学科居住空間デザインコース／株式会社野崎製作所／株式会社乃村工藝社／株式会社ハースト婦人画報社／モダンリビング／株式会社白線社／箱根根木株式会社／ビーエス株式会社／株式会社日立ビルシステム／福島県住宅生活協同組合／府瀬川設備株式会社／株式会社フッコ／株式会社プランテック総合計画事務所／株式会社ブレイスマイクリング研究所／株式会社松田平田設計／丸善出版株式会社／ミサワホーム九州株式会社／三井不動産レジデンシャル株式会社／森の窓販売株式会社／株式会社安井建築設計事務所／株式会社ユニソン／有限会社ライトウェア／株式会社LIXIL（敬称略・五十音順）



002 新築工事 計画案 透視図 さとうボックス (1973)



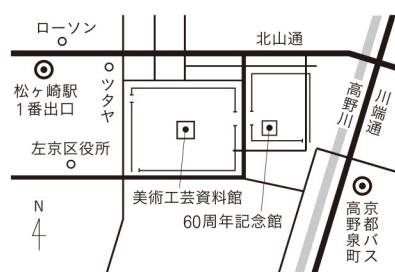
記念シンポジウム

2019年4月20日(土) 14:00~17:00
京都工芸織維大学 60周年記念館1階ホール
テーマ：「宮脇檀の人と建築を語る」

パネリスト：松家仁之（小説家、編集者）
堀部安嗣（建築家、京都造形芸術大学大学院教授）
椎名英三（椎名英三・祐子建築設計主宰、元・宮脇檀建築研究室所員）
中山繁信（建築家、元・工学院大学教授）
司会：松撰洋（京都工芸織維大学教授）

京都展では、新たに、東京藝術大学卒業設計（1959年）とデザイン・サーベイで最初に手がけた倉敷の町並み調査（1966年）の原図を加え、代表的な住宅作品5点を模型にして展示します。宮脇檀の幅広い活動を通して、建築と町づくりに込めたその想いを伝えたいと思います。

アクセス



■地下鉄：京都市営地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」
1番出口から右（東）へ約400m、4つ目の信号を右（南）へ約180m
■バス：京都バス「高野泉町」下車、馬橋を渡り左へ約200m

【お問い合わせ】
京都工芸織維大学 美術工芸資料館
〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町
Tel: 075-724-7924
E-mail: shiryokan@jim.kit.ac.jp
<http://www.museum.kit.ac.jp/>

【同時開催】
音のデザイン—館蔵のポスターと楽器—
2019年3月18日(月)~3月30日(土)